

## 地域再生計画

### 1 地域再生計画の名称

第3期豊前市まち・ひと・しごと創生推進計画

### 2 地域再生計画の作成主体の名称

福岡県豊前市

### 3 地域再生計画の区域

福岡県豊前市の全域

### 4 地域再生計画の目標

本市の人口は、1955年の37,936人をピークに減少しており、住民基本台帳によると2023年には23,853人まで落ち込んでいる。国立社会保障・人口問題研究所が2023年に公表した人口推計によると、2050年には総人口が15,453人となる見込みである。

年齢3区分別の人口動態をみると、年少人口（0～14歳）は1980年の6,930人をピークに減少し、2020年には2,818人となる一方、老年人口（65歳以上）は1980年の4,298人から2020年には9,127人と増加の一途をたどっており、少子高齢化がさらに進むことが想定されている。また、生産年齢人口（15～64歳）も1985年の20,593人をピークに減少傾向にあり、2020年には12,298人となっている。

自然動態をみると、出生数は2001年の263人をピークに減少し、2023年には95人となっている。その一方で、死亡数は2023年には405人と増加の一途をたどっており、出生者数から死亡者数を差し引いた自然増減は▲310人（自然減）となっている。

社会動態をみると、2023年には転出者（794人）が転入者（755人）を上回る社会減（▲39人）であった。本市では、市内に大学や専門学校がなく、進学を機に転出する15歳から19歳の人口純移動は▲264人の減少（2015年と2020年国勢調査比較）となり、豊前市で育んだ大切な人材が流出しているが、外国人の若年層の流入により、減少の幅がわずかに縮まっている。このように、人口の減少は、死亡者数の増加と出生数の著しい減少（自然減）や転出者の増加（社会減）等が原因と考えられる。

今後も人口減少や少子高齢化が進むことで、日常生活に不可欠なサービスの維持が

困難となることや地域における担い手不足、地域産業・地域コミュニティの衰退等、市民生活にも大きな影響が及ぶことが懸念される。

これらの課題に対応するため、これまで取り組んできた地域資源の魅力発信の継続により、魅力あるまちづくりを創出しつつ、教育環境の整った本市で子どもを産み育てることを選択してもらう取り組みにより、自然増につなげる。また、個人のライフスタイルにあわせた働き方やスタートアップなど仕事の新たな挑戦が可能となる地域として、移住・定住・関係人口等による本市への人の流れをつくる取組を通じて、社会減に歯止めをかけることで、ひとりひとりに焦点を充てた支援を意識し、「希望を持って住み続けることができる持続可能なまち」を目指す。

基本目標 1 「ぶぜん」で育つ・子育てをする

基本目標 2 「ぶぜん」でしごとをする

基本目標 3 「ぶぜん」に新しい人の流れをつくる

基本目標 4 魅力的な「ぶぜん」を守る・つくる

#### 【数値目標】

| 5-2の<br>①に掲げ<br>る事業 | K P I             | 現状値<br>(計画開始時点) | 目標値<br>(2029年度) | 達成に寄与する<br>地方版総合戦略<br>の基本目標 |
|---------------------|-------------------|-----------------|-----------------|-----------------------------|
| ア                   | 出生数               | 95人             | 100人            | 基本目標 1                      |
| イ                   | 総生産額              | 90,305百万円       | 94,820百万円       | 基本目標 2                      |
| ウ                   | 社会増減数             | △39人            | 0人              | 基本目標 3                      |
| エ                   | 豊前市に対する愛着<br>度の割合 | 43.0%           | 50.0%           | 基本目標 4                      |

## 5 地域再生を図るために行う事業

### 5-1 全体の概要

5-2のとおり。

## 5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

- まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する  
特例（内閣府）：【A2007】

### ① 事業の名称

第3期豊前市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進事業

ア 「ぶぜん」で育つ・子育てをする事業

イ 「ぶぜん」でしごとをする事業

ウ 「ぶぜん」に新しい人の流れをつくる事業

エ 魅力的な「ぶぜん」を守る・つくる事業

### ② 事業の内容

ア 「ぶぜん」で育つ・子育てをする事業

結婚・妊娠・出産・子育ての切れ目ない支援や教育の推進、子育て世代の定住促進、地域で支える子育て支援活動等、安心して子育てできる場として選んでもらえることに資する事業。

イ 「ぶぜん」でしごとをする事業

農林水産業や商工業、観光業等様々な分野の仕事の場の創出、地元の求人・企業情報の発信を行い地元での就職の促進、人材・技術の事業の承継する取り組み、学校跡地への企業誘致や起業に向けたスタートアップ支援等、多様で柔軟な働く環境を整備する事業。

ウ 「ぶぜん」に新しい人の流れをつくる事業

移住希望者に向けた移住促進と受入れ体制の強化等、市内外の在住者に向けた定住促進、空き家の利活用等の整備等、地域経済や地域活力につながる関係人口を創出する事業。

エ 魅力的な「ぶぜん」を守る・つくる事業

市の玄関口である駅周辺の環境整備の促進や伝統芸能や文化・スポーツなどによるまちづくりの創出、市内でも人も物も仕事も循環する仕組みを

構築し、市民ひとりひとりが支え合い、助け合う地域共生社会の実現と持続可能な暮らしの実現に向けた事業。

※なお、詳細は「～デジタル田園都市国家構想の実現に向けた～第3期豊前市まち・ひと・しごと創生総合戦略」のとおり。

③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（KPI））

4の【数値目標】に同じ。

④ 寄附の金額の目安

700,000 千円（2025 年度～2029 年度累計）

⑤ 事業の評価の方法（PDCAサイクル）

毎年10月、外部有識者による効果検証を行い、翌年度以降の取組方針を決定する。効果検証結果は市ホームページで公表する。

⑥ 事業実施期間

2025 年 4 月 1 日から 2030 年 3 月 31 日まで

## 6 計画期間

2025 年 4 月 1 日から 2030 年 3 月 31 日まで